



平成31年 3月号
ボランティアセンターだより

たいない



編集・発行 胎内市社会福祉協議会
地域福祉係
ボランティアセンター
胎内市西本町 11-11 ほっとHOT・中条内
TEL 0254 (44) 8682 FAX 0254 (44) 8651
E-mail borasen@tainai-syakyo.or.jp
HP http://tainai-syakyo.com/



助成金情報

各助成金の詳細については、ボランティアセンターまでお問合せをお願いいたします。

●みずほ教育福祉財団 「老後を豊かにするボランティア活動資金助成事業」

高齢者を主な対象として活動するボランティアグループおよび地域共生社会の現実につながる活動を行っている高齢者中心のボランティアグループに対し、活動において継続的に使用する用具・機器類の助成金

応募内容

1. 助成対象

(1) 必要要件

- ① ボランティアグループスタッフ数：10～50人
- ② 活動実績が、2019年3月末時点で2年以上あるもの
- ③ 本助成を過去3年以内（2016年度以降）に受けていないこと
- ④ 金融口座を保有し、規約（会則）、活動報告書類および会計報告書類が整備されていること

(2) 対象外となるグループ

法人格を有する団体(NPO法人等) / 老人クラブ等 / 自治会・町内会等

2. 助成対象となる用具・機器

活動において継続的に使用する用具・機器(エアコン・テレビ・椅子・テーブル等の設備に類するものを除く)
※運営経費(人件費、交通費、消耗品費)、研修経費(講師謝礼、会場費)は、対象外です。

3. 助成金額

1グループにつき10万円を上限とします。

4. 応募期限

5月10日までに、必要書類を添えて胎内市社会福祉協議会 ボランティアセンターへご提出ください。



◎みずほ教育福祉財団HP: <http://www.mizuho-ewf.or.jp/>

3月に入り、梅の花が咲きはじめたり、フキノトウが出てきたりと、毎日どこかで春を感じています。今回は、最近メディアでも少し話題となりましたボランティアな行動をご紹介します。

小藪千豊さんをご存知でしょうか？朝の情報番組や、バラエティーなどで活躍中のお笑い芸人です。今、小藪さんが車椅子の女性への声掛けが“**ユニバーサルマナー**”だとネットで話題を呼んでいます。“ユニバーサルマナー”？このワードを初めて耳にする方も多いのではないのでしょうか。

小藪さんは、駅で車椅子の女性がタクシーに乗る際に遠くから駆け寄り、「何かお手伝いしましょうか？…ゆーても僕、何したらええかわからんで教えてください」とユーモアを交え、声を掛けたそう。車椅子の女性は、これまでも多くの人から「大丈夫ですか？」と声を掛けられることがあっても反射的に、「大丈夫です！」と答えてしまっていたことを振り返り、今回のように「教えてください！」とお願いしやすい声掛けが泣きそうになったと感謝の想いを述べています。

“ユニバーサルマナー”とは、自分とは違う誰かの視点に立ち、高齢者や障がい者等へ向き合うための**心遣い**と**行動**のこと。障がいを持つ方だけに限らず、高齢者や外国人、ベビーカー利用者などへの配慮も当てはまりますね。

困っている人を見かけても声を掛けない人の多くは、「知識が無いから」など多様な視点が見えないからだと思います。“知る”ことも、心遣いを磨くための第一歩です♪

